

中学校編 第1部 2 「君の胸にも勲章を」

特別活動（学級活動）指導案

1 学年 第3学年

2 中学校のキャリア発達課題

(1年生) ・自己の良さや個性が分かる。 ・自己と他者の違いに気付き、尊重しようとする。 ・集団の一員としての役割を理解し果たそうとする。 ・将来に対する漠然とした夢やあこがれを抱く。	(2年生) ・自分の言動が、他者に及ぼす影響について理解する。 ・社会の一員として自覚が芽生えるとともに社会や大人を客観的にとらえる。 ・将来への夢を達成する上で現実の問題に直面し、模索する。	(3年生) ・自己と他者の個性を尊重し、人間関係を円滑に進める。 ・社会の一員としての義務と責任を理解する。 ・将来設計を達成するための困難を理解し、それを克服する努力に向かう。
--	---	--

3 中学校におけるキャリア発達にかかわる諸能力

(1) 意思決定能力

【選択能力】

- ・自己の個性や興味・関心等に基づいて、よりよい選択をしようとする。
- ・選択の意味や判断・決定の過程、結果には責任が伴うことなどを理解する。
- ・教師や保護者と相談しながら、当面の進路を選択し、その結果を受け入れる。

【課題解決能力】

- ・学習や進路選択の課程を振り返り、次の選択場面に生かす。
- ・よりよい生活や学習、進路や生き方等を目指して自ら課題を見出していくことの大切さを理解する。
- ・課題に積極的に取り組み、主体的に解決していこうとする。

(2) 人間関係形成能力

【自他の理解能力】

- ・自分の良さや個性が分かり、他者の良さや感情を理解し、尊重する。
- ・自分の言動が相手や他者に及ぼす影響が分かる。
- ・自分の悩みを話せる人を持つ。

【コミュニケーション能力】

- ・他者に配慮しながら、積極的に人間関係を築こうとする。
- ・人間関係の大切さを理解し、コミュニケーションスキルの基盤を習得する。
- ・リーダーとフォロアーの立場を理解し、チームを組んで互いに支え合いながら仕事をする。
- ・新しい環境や人間関係に適応する。

(3) 将来設計能力

【役割把握・認識能力】

- ・自分の役割やその進め方、よりよい集団活動のための役割分担やその方法等が分かる。
- ・日常生活や学習と将来の生き方の関係を理解する。
- ・様々な職業の社会的役割や意義を理解し、自己の生き方を考える。

【計画実行能力】

- ・将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしい職業や仕事への関心・意欲を高める。
- ・進路計画を立てる意義や方法を理解し、自分の目指すべき将来を暫定的に計画する。
- ・将来の進路希望に基づいて、当面の目標を立て、その達成に向けて努力する。

(4) 情報活用能力

【情報収集・探索能力】

- ・産業・経済等の変化に伴う職業や仕事の変化のあらましを理解する。
- ・上級学校・学科等の種類や特徴及び職業に求められる資格や学習歴の概略が分かる。
- ・生き方や進路に関する情報を、様々なメディアを通して調査・収集・整理し活用する。
- ・必要に応じ、獲得した情報に創意工夫を加え、提示、発表、発信する。

【職業理解能力】

- ・将来の職業生活との関連の中で、今の学習の必要性や大切さを理解する。
- ・体験等を通して、勤労の意義や働く人々の様々な思いが分かる。
- ・係・委員会活動や職場体験等で得たことを、以後の学習や選択に生かす。

4 関連する教育活動 総合的な学習の時間等

5 関連する道徳の価値項目 1－(2)、1－(5)、4－(5)

- 6 本時のねらい
- ・よりよい生活や学習、進路や生き方等を目指して自ら課題を見出していくことの大切さを理解する。
- (意思決定能力【課題解決能力】)

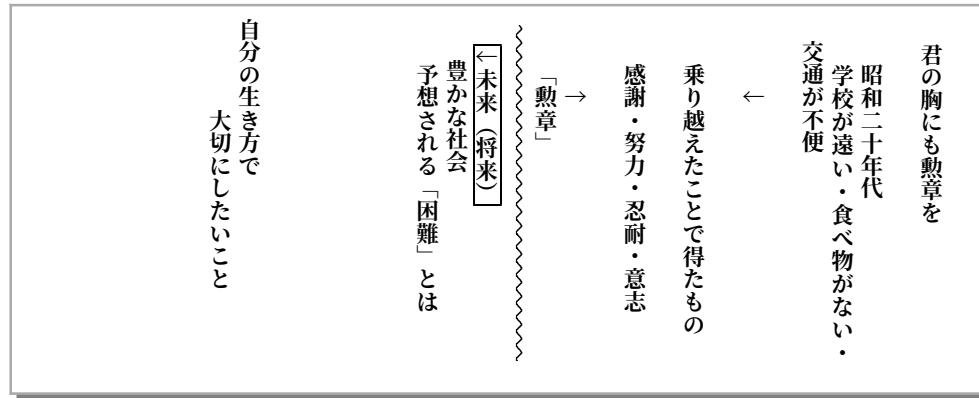
7 授業改善の視点

「心のノート」を導入とまとめで活用し、自ら課題を見出していくことに役立てる。

8 本時の展開

過程	学習活動	主な発問 予想される生徒の反応	指導上の留意点	資料・評価等
導 入	1 自分のがんばりを振り返る。	○心のノートのP24,25を見て、今まで自分ががんばってきたことはどんなことか、思い出して聞かせてください。 ・部活動に関すること ・行事に関すること ・勉強に関すること ・がんばった経験がない	・子どもの経験がでにくい場合は、教師の経験を話し、学習内容への関心を高める。	・心のノート P24、25
展 開	2 資料を読み、内容を把握する。	○作者はどのような学校生活を送っていましたか。 ・貧しさの中でがんばった。 ・遠い学校に通った	・「勲章」の意味が理解できていない生徒がいたら、わかりやすく解説する。	
	3 勲章の意味を考える。	○「君の胸にも勲章を」と言っている作者は、自分自身の生き方の中でどんな勲章を得たのでしょうか。 ・努力に対する勲章 ・忍耐に対する勲章など ・意志を強くしたことに対する勲章		
	4 自分の課題となることを予想する	○作者が生きた時代と、これから君たちが生きる時代はずいぶんちがいますが、君たちの今後にはどんな課題が生まれてくると予想されますか。 ・高校で勉強が嫌になる。 ・友達とけんかをして学校が嫌になる。 ・部活の3年生が厳しくて嫌になる。 ◎多くの人は、これから自分が向き合う課題を何となく予想できるようですが、それは大切なことだと思いますか。(なぜ、大切なんだと思いますか。) ・そのことを予想して必要な力をつけていける。 ・そうならないようにがんばれる。	・資料と現実と時代のギャップがあるので、未来に目を向け考えるように、板書の工夫で生徒の思考を切り替える。 ・あまり先のことではなく、高校進学後など予想できる範囲で考えさせるようにする。 ・自ら課題を見出すことの大切さに気付かせる。	よりよい生活や学習、進路や生き方等を目指して自ら課題を見出していくことの大切さを理解する。
終 末	5 心のノートに思いを書く。	○最初に見た心のノートのページに、自分の思いを書いてみよう。		

9 板書計画



10 生徒の反応等

【授業記録】

(展開)

教師1：「君の胸にも勲章を」と言っている作者は、自分自身の生き方の中でどんな勲章を得たのでしょうか。

生徒1：先生、「勲章」って何ですか？

教師2：もとは国家や国王などに尽くして優れた働きをした人に与えられたメダルのようなものだったのですが、ここでは、「誇り」とか「自信につながる目に見えないご褒美」とか、そんな意味ではないでしょうか。

生徒2：作者は、自分で自分に勲章をあげたということですか。

教師3：そうですね。おそらく自分だけでなく、同じ貧しい時代に生きた多くの人たちが、がんばってきたからこそ、今の豊かな日本があるという達成感を味わっておられるからではないでしょうか。
作者はなぜ、そのような達成感を持てたのでしょうか。

生徒3：へこたれそうになると、「負けるな」と自分を励ましてきたところ。

生徒4：どんなことがあっても、自分の意志を貫いたところ。

生徒5：どんな苦労があっても、あきらめずに挑んでいったところ。

生徒6：母ががんばって学校に行かせてくれていることを無駄にしなかったところ。

教師4：いろいろ詳しく書いてあったけど「〇〇への勲章」という言い方をしてみてくださいませんか。

生徒7：努力への勲章とか忍耐への勲章

生徒8：親孝行への勲章

教師5：なるほど、いいですね。作者はがんばって生きていけば「君たちの胸にも勲章が輝く」というアドバイスをしていただけますが、時代も変わった中で、君たちはどんな生き方をしていけばいいのか話し合ってみましょう。

【生徒の感想】

1 昔の苦労については、それがどれだけたいへんなことかよく分からなかったけれど、今学校でも、人間関係のことや勉強のことでうまくいかないことがある。解決しないまま何となく終わらせていることもあるので、本当はそれをしっかり乗り越えなければならぬことが分かった。本当は分かっていた、それをしてないのだけ。

2 私は毎日絵を描くことがしんどいことじゃなくて、楽しいことだと思っている。でも、将来絵を描くことを仕事にすると、たいへんなことがあるかもしれません。そんな時にすぐあきらめてしまわないように強い気持が持てるようになりたいと思いました。

3 あきらめない心の強さと努力が大切だということは、部活の顧問の先生の口癖とよく似ている。はじめから無理だと思っていると達成できないし、まず目標を持って、自分でつくった目標は達成するまで持ち続けたいと思う。

【授業者の感想】

資料の時代背景と生徒の生活実態のギャップが大きくどこまで理解できているか分からなかったが、3年生の進路決定の時期に合わせたことで、どのような進路選択をしても課題を克服するための努力を続けていくことが必要になるであろうことを考えることができたのではないかと考える。